

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「性感染症から身を守る」
- 2 対象 全校生、教職員
- 3 専門医 小島原 敬信 医師  
(公立置賜総合病院)
- 4 実施月 10月
- 5 内容(キーワード)  
性感染症の各論(個別の病気の画像を入れて)



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*講話を受けている生徒の態度からその真剣な様子がかがえた。
- \*講話後、全生徒に感想文を書いてもらったが、自分の行動についての対処の仕方や自他の健康を大切にすることを記入している。

②保健教育における校内連携について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*科目保健の実施内容や指導について指導者(専門医)にお知らせし、講話をどのように進めていったらよいか連携して実施できた。
- \*学校保健年間計画に基づき、保健部を中心に各学年・各分掌と連携して実施できた。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*昨年度(がんを知る)・今年度(性感染症から身を守る)について、公立置賜総合病院と連絡を密にして実施できた。

〔受講者の感想など〕

- 性感染症は、一度かかってしまうと今後の生活に影響をおよぼすことを知りました。治療は、パートナーと一緒にする必要があります。
- 自分の軽はずみな行動が多くの人にうつし広まってしまうので気をつけて行動をしていきたい。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 今後、科目保健の授業で講話内容を深化させる。
- 日常の保健指導(保健室)に役立てる。

